

第2期大津市がん対策推進基本計画案について

令和7年3月14日
健康保険部保健所健康推進課

目 次

- 1 パブリックコメントの結果 P3
- 2 パブリックコメントでの御意見を反映したもの P4
- 3 その他の変更箇所 P6

1 パブリックコメントの結果

パブリックコメントの結果(概要)

■ 意見募集期間	令和6年12月24日(火)から令和7年1月14日(火)まで	
■ 意見者数		2名
■ 意見総数		10件
■ 対応の状況		
	・御意見を踏まえて反映したもの	5件
	・御意見に対して補足説明するもの	3件
	・今後の取組の参考とさせていただくもの	2件

2 パブリックコメントでの御意見を反映したもの①

該当 ページ	意見(要約)	市の考え方
P2	【計画策定の背景と趣旨】 がんが死因の第1位となっているのは、事実を記しているものであり、「課題」ではない。よって、表現を再考されるのが良い。	御意見を踏まえ、下記のとおり表現を修正 「本市においても、現在、がんは死因の第1位であることから、がんの予防、がんとの共生などの総合的ながん対策はますます重要となってきます。」
P5	【SDGsとの関係】 がん対策は、本人の健康意識の向上だけではなく、医療体制の構築や行政によるサポート、これらの連携も非常に重要であることから、SDGsの目標「17. パートナーシップで目標を達成しよう」を追記してはどうか。	御意見を踏まえ、目標17「パートナーシップで目標を達成しよう 行政機関と民間企業・医療機関等の団体が連携し、がん対策に関する取組を推進します」を追記

2 パブリックコメントでの御意見を反映したもの②

該当ページ	意見(要約)	市の考え方
P86 (関連ページP134)	【受動喫煙の防止】 「世界禁煙デー、禁煙週間に関する啓発」、「禁煙ポスターの作成・配布(屋内禁煙実施の飲食店、事業所向け)」の施策も重要であることから、追加してはどうか。	御意見を踏まえ、施策No.7を下記のとおり修正 「No.7 イエローグリーンリボン運動、世界禁煙デー及び禁煙週間の普及啓発」 禁煙ポスターの作成・配布については、禁煙や受動喫煙の防止の推進に関連する御意見として承り、今後の取組の参考とする。
P90、 P133	【成人の喫煙率の減少】 「成人」を「20歳以上」に変更されたい。18歳以上と紛らわしい。	御指摘を踏まえ、「成人」を「20歳以上」に修正
P93	【喫煙マナー】 「喫煙マナーを守ります。」について、「マナー」ではなく、健康増進法27条に規定されている、「の際の配慮義務」に言い換えるべき。	御指摘を踏まえ、「喫煙をする際の配慮義務を守ります。」に修正

3 その他の変更箇所①

大津市がん対策推進委員会における意見等を踏まえ、変更した箇所

該当ページ	意見(要約)	変更の内容																						
P101、P138	【がん教育の充実】 がん教育を受けた児童生徒の理解度及びAYA世代に関する目標及び評価指標を設定すべき。	御意見を踏まえ、児童生徒と、20～30歳代を対象とした目標及び評価指標に修正																						
		<table> <tr> <th></th><th>変更前</th><th>変更後</th></tr> <tr> <td rowspan="2">目指す成果 (初期アウトカム)</td><td>がん教育を通じて、がんに関する知識の理解が深まっている</td><td>がん教育を通じて、児童生徒のがんに関する知識の理解が深まっている</td></tr> <tr> <td>20歳代の人が、生活習慣からのがん予防に取り組んでいる</td><td>20～30歳代の人に、がんに関する知識が普及している</td></tr> <tr> <td rowspan="8">評価指標</td><td colspan="2">(新たに設定)</td></tr> <tr> <td></td><td>「がんについて学ぶことは、健康な生活を送るために重要だ」と思う児童生徒の割合</td></tr> <tr> <td></td><td>「がん検診を受けられる年齢になったら、検診を受けようと思う」児童生徒の割合</td></tr> <tr> <td></td><td>「がんになっている人も過ごしやすい世の中にしたい」と思う児童生徒の割合</td></tr> <tr> <td>20歳～39歳の回答において「がんは早期発見により治療が可能である」ことを認識している人の割合</td><td>20歳～39歳の回答において「がんは早期発見により治療が可能である」ことを認識している人の割合</td></tr> <tr> <td>20歳～39歳の回答において「乳がんや子宮頸がんのように若い世代で増えているがんもある」ことを認識している人の割合</td><td>20歳～39歳の回答において「乳がんや子宮頸がんのように若い世代で増えているがんもある」ことを認識している人の割合</td></tr> <tr> <td>20歳代の食塩の摂取量の減少</td><td rowspan="2">(削除)</td></tr> <tr> <td>20歳代の喫煙率の減少</td></tr> </table>		変更前	変更後	目指す成果 (初期アウトカム)	がん教育を通じて、がんに関する知識の理解が深まっている	がん教育を通じて、児童生徒のがんに関する知識の理解が深まっている	20歳代の人が、生活習慣からのがん予防に取り組んでいる	20～30歳代の人に、がんに関する知識が普及している	評価指標	(新たに設定)			「がんについて学ぶことは、健康な生活を送るために重要だ」と思う児童生徒の割合		「がん検診を受けられる年齢になったら、検診を受けようと思う」児童生徒の割合		「がんになっている人も過ごしやすい世の中にしたい」と思う児童生徒の割合	20歳～39歳の回答において「がんは早期発見により治療が可能である」ことを認識している人の割合	20歳～39歳の回答において「がんは早期発見により治療が可能である」ことを認識している人の割合	20歳～39歳の回答において「乳がんや子宮頸がんのように若い世代で増えているがんもある」ことを認識している人の割合	20歳～39歳の回答において「乳がんや子宮頸がんのように若い世代で増えているがんもある」ことを認識している人の割合	20歳代の食塩の摂取量の減少
	変更前	変更後																						
目指す成果 (初期アウトカム)	がん教育を通じて、がんに関する知識の理解が深まっている	がん教育を通じて、児童生徒のがんに関する知識の理解が深まっている																						
	20歳代の人が、生活習慣からのがん予防に取り組んでいる	20～30歳代の人に、がんに関する知識が普及している																						
評価指標	(新たに設定)																							
		「がんについて学ぶことは、健康な生活を送るために重要だ」と思う児童生徒の割合																						
		「がん検診を受けられる年齢になったら、検診を受けようと思う」児童生徒の割合																						
		「がんになっている人も過ごしやすい世の中にしたい」と思う児童生徒の割合																						
	20歳～39歳の回答において「がんは早期発見により治療が可能である」ことを認識している人の割合	20歳～39歳の回答において「がんは早期発見により治療が可能である」ことを認識している人の割合																						
	20歳～39歳の回答において「乳がんや子宮頸がんのように若い世代で増えているがんもある」ことを認識している人の割合	20歳～39歳の回答において「乳がんや子宮頸がんのように若い世代で増えているがんもある」ことを認識している人の割合																						
	20歳代の食塩の摂取量の減少	(削除)																						
	20歳代の喫煙率の減少																							

3 その他の変更箇所②

該当 ページ	意見(要約)	変更の内容
P108 (関連 ページ P142)	【在宅医療の充実と療養生活の質的向上】 評価指標「緩和ケアを受け、気持ちが前向きになったがん患者等の割合」について、指標と出典の表記を見直すべき。	御意見を踏まえ、下記のとおり表記を修正 (評価指標) ピア・サポートを受け、気持ちが前向きになったがん患者等の割合 (出典) 滋賀県がん患者団体連絡協議会 がん患者サロン参加者アンケート
P108 (関連 ページ P109、 P111、 112、 143)	【緩和ケアの理解促進と充実】 「緩和ケアを受けられる医療機関」という表記は、緩和ケアの解釈によって対象が大きく変わる。どのような場所で緩和ケアが行われているかを情報発信していくことが伝わるよう、表記を見直すべき。	御意見を踏まえ、下記のとおり施策No.27の表記を修正 「医療機関や相談窓口等における緩和ケアの情報発信」
P122	【用語解説】 以下の用語を追加すべき。 ・一般診療所 ・一般病院 ・イントラネット	御意見のとおり追加

第2期大津市がん対策推進基本計画（案）に対するパブリックコメントでの意見内容と市の考え方

- 1 原案の公表時期及び意見募集期間
令和6年12月24日（火曜日）～令和7年1月14日（火曜日）
- 2 結果
意見提出 2人（10項目）

項目番号	該当（関連）箇所		意見内容	市の考え方
1	P2	計画策定の背景と趣旨	がんが死因の第1位となっているのは、事実を記しているものであり、「課題」ではないと思います。（課題とは、目指す姿と現状とのギャップのことと認識しています。） よって、表現を再考されるのが良いと思います。	御意見を踏まえ、下記のとおり表現を修正いたします。 「本市においても、現在、がんは死因の第1位であることから、がんの予防、がんとの共生などの総合的ながん対策はますます重要となってきます。」
2	P5	SDGsとの関係	がん対策は、本人の健康意識の向上だけではなく、医療体制の構築や行政によるサポート、これらの連携も非常に重要であることから、SDGsの目標「17.パートナーシップで目標を達成しよう」を追記してはいかがでしょうか。（ターゲット 17.17）	御意見を踏まえ、目標 17「パートナーシップで目標を達成しよう 行政機関と民間企業・医療機関等の団体が連携し、がん対策に関する取組を推進します」を追記いたします。
3	指定なし（関連分野 P32～P40、P78、P114、P115）	がん治療について	がん治療において、医療機関でのがん種別毎のがん治療実績（件数）が重要になると思いますので、医療機関に対して、がん種別毎のがん治療実績（件数）の公表を努力義務とするよう定めてはいかがでしょうか。このことにより、患者や家族は気軽に相談することができ、相談体制の整備や、そこから見えてくる課題の把握に繋がると思います。	医療機関でのがん治療の実績については、医療法に基づく医療機能情報提供制度において公表されていることから、本計画において治療実績の公表を努力義務とすることは考えておりません。
4	P79	計画の基本目標	基本目標 1 を「がんの予防」、基本目標 2 を「がんとの共生」とされていますが、がんの種類によっては遺伝子異常に起因するものもあり、予防することができないものもあります。生活習慣の改善等により予防することができるものは取組を進めることが重要であることは当然なのですが、予防できないがんに罹患した人の気持ちを尊重する意味を込めて、基本目標 1 と基本目標 2 の順番を変えてはいかがでしょうか。共生を重視することが基本理念の達成に繋がると思います。	国や滋賀県が策定している計画との整合性を図っていることから、原案どおりいたします。
5	P95	がん検診の受診促進	がんの早期発見・早期治療のために検診の受診は重要ですが、脳腫瘍の場合、通常の間ドックでは発見することが難しく、別途、脳ドックを受ける必要があります。よって、脳ドックの受診補助や受診体制の整備が必要だと思います。	国が定める指針に基づき、胃がん、肺がん、大腸がん、子宮頸がん及び乳がんを対象とした、科学的根拠に基づくがん検診に取り組みることとされており、国や滋賀県の計画においても同様の方針であることから、脳腫瘍に関する間ドックの受診補助や受診体制を整備することは考えておりませんが、御意見として承ります。
6	指定なし（関連分野 P38～P40、P42、P152）	がん患者の参画について	計画策定および施策の立案において、がん患者本人の意見を聞き、反映させる場や仕組みづくりをお願いしたいと思います。がん患者本人の声を置き去りにした計画や施策とならないよう、事業評価に本人が参加できるようにするなど、患者本人の参画を推進していただければと思います。	本計画については、大津市がん対策推進委員会で審議いただいており、がん患者等で構成される団体からも、がんに罹患された方が委員として参画いただいております。いただいた御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。
7	P86	受動喫煙の防止	透明な文字で「No.14 世界禁煙デー、禁煙週間に関する啓発」「No.16 禁煙ポスターの作成・配布（屋内禁煙実施の飲食店、事業所向け）」と書かれていますが、非常に重要なので、No.9、10 と振り直した上で、文字を黒くして下さい。	御意見を踏まえ、施策 No.7 を下記のとおり修正いたします。 「No.7 イエローグリーンリボン運動、世界禁煙デー及び禁煙週間の普及啓発」 禁煙ポスターの作成・配布については、禁煙や受動喫煙の防止の推進に関連する御意見として承り、今後の取組の参考とさせていただきます。
8	P90、P133	成人の喫煙率の減少	「成人」を「20 歳以上」に変更されたい。18 歳以上と紛らわしい。	御指摘を踏まえ、「成人」を「20 歳以上」に修正いたします。
9	P91	「生活習慣の改善によるがん予防の取組の推進」における市の取組	「市」の取組に、駅前のマナースポットの廃止、民間企業からの喫煙所の寄付の拒否、大規模スポーツ大会会場の全面禁煙等を追加して下さい。タバコの煙がタダ漏れの喫煙所があると、禁煙も受動喫煙の防止も推進することができません。社会環境の整備が最も重要です。	禁煙や受動喫煙防止の推進において社会環境の整備は重要であり、いただいた御意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。
10	P93	喫煙マナー	「喫煙マナーを守ります。」について、「マナー」ではなく、「の際の配慮義務」に言い換えて下さい。「マナー」とは意味が曖昧な言葉です。健康増進法 27 条に規定されている用語を用いて下さい。	御指摘を踏まえ、「喫煙をする際の配慮義務を守ります。」に修正いたします。

第2期大津市がん対策推進基本計画（案）に対する、パブリックコメント及び大津市がん対策推進委員会等での意見を踏まえた修正一覧（新旧対照表）

ページ	詳細箇所	修正前	修正後
2	計画策定の背景と趣旨	本市においても、現在、がんは死因の第1位であり、市民の生命及び健康にとって重要な問題となっています。	本市においても、現在、がんは死因の第1位であることから、 <u>がんの予防、がんとの共生などの総合的ながん対策はますます重要となつてきます。</u>
5	SDG s との関係	(追加)	<u>目標 17「パートナーシップで目標を達成しよう 行政機関と民間企業・医療機関等の団体が連携し、がん対策に関する取組を推進します」</u>
86	施策体系 ③受動喫煙の防止	No.7 イエローグリーンリボン運動の普及啓発	No.7 イエローグリーンリボン運動、 <u>世界禁煙デー及び禁煙週間の普及啓発</u>
90	評価指標 指標項目⑤	成人の喫煙率の減少	<u>20 歳以上</u> の喫煙率の減少
93	主体別の具体的な取組	喫煙マナーを守ります	喫煙 <u>をする際の配慮義務</u> を守ります
101	目指す成果（初期アウトカム）	・がん教育を通じて、がんに関する知識の理解が深まっている ・20 歳代の人が、生活習慣からのがん予防に取り組んでいる	・がん教育を通じて、<u>児童生徒の</u>がんに関する知識の理解が深まっている ・<u>20～30 歳代の人に、がんに関する知識が普及している</u>

第2期大津市がん対策推進基本計画（案）に対する、パブリックコメント及び大津市がん対策推進委員会等での意見を踏まえた修正一覧（新旧対照表）

ページ	詳細箇所	修正前	修正後
101	評価指標	(新たに設定)	<u>「がんについて学ぶことは、健康な生活を送るために重要だ」と思う児童生徒の割合</u>
			<u>「がん検診を受けられる年齢になったら、検診を受けようと思う」児童生徒の割合</u>
			<u>「がんになっている人も過ごしやすい世の中にしたい」と思う児童生徒の割合</u>
		20歳代の食塩の摂取量の減少	<u>(削除)</u>
		20歳代の喫煙率の減少	
108	中間アウトカム 評価指標	緩和ケアを受け、気持ちが前向きになったがん患者等の割合	<u>ピア・サポート</u> を受け、気持ちが前向きになったがん患者等の割合
	中間アウトカム 評価指標の出典	滋賀県がん患者団体連絡協議会 がん患者等の状況	滋賀県がん患者団体連絡協議会 <u>がん患者サロン参加者アンケート</u>
	施策 No.27	緩和ケアを受けられる医療機関や相談窓口等の情報発信	<u>医療機関や相談窓口等における緩和ケアの情報発信</u>
111	施策の方向性	緩和ケアを受けられる病院や相談先の情報提供	<u>医療機関や相談支援機関における緩和ケアの情報提供</u>
	主な取組（アウトプット）	緩和ケアを受けられる医療機関や相談窓口等の情報発信	<u>医療機関や相談窓口等における緩和ケアの情報発信</u>
112	主体別の具体的な取組	緩和ケアを受けられる●●の・・・	<u>●●における緩和ケアの・・・</u>
133	評価指標	成人の喫煙率の減少	<u>20歳以上</u> の喫煙率の減少

第2期大津市がん対策推進基本計画（案）に対する、パブリックコメント及び大津市がん対策推進委員会等での意見を踏まえた修正一覧（新旧対照表）

ページ	詳細箇所	修正前	修正後
134	主な取組（アウトプット）	イエローグリーンリボン運動の普及啓発	イエローグリーンリボン運動、 <u>世界禁煙デー及び禁煙週間の普及啓発</u>
138	初期アウトカム （目指す成果）	・がん教育を通じて、がんに関する知識の理解が深まっている ・20 歳代の人が、生活習慣からのがん予防に取り組んでいる	・がん教育を通じて、<u>児童生徒のがんに関する知識の理解が深まっている</u> ・<u>20～30 歳代の人に、がんに関する知識が普及している</u>
	評価指標	（新たに設定）	<u>「がんについて学ぶことは、健康な生活を送るために重要だ」と思う児童生徒の割合</u>
			<u>「がん検診を受けられる年齢になったら、検診を受けようと思う」児童生徒の割合</u>
			<u>「がんになっている人も過ごしやすい世の中にしたい」と思う児童生徒の割合</u>
		20 歳代の食塩の摂取量の減少 20 歳代の喫煙率の減少	<u>（削除）</u>
142	中間アウトカム 評価指標	緩和ケアを受け、気持ちが前向きになったがん患者等の割合	<u>ピア・サポート</u> を受け、気持ちが前向きになったがん患者等の割合
	中間アウトカム 評価指標の出典	滋賀県がん患者団体連絡協議会 がん患者等の状況	滋賀県がん患者団体連絡協議会 <u>がん患者サロン参加者アンケート</u>
143	主な取組（アウトプット）	緩和ケアを受けられる医療機関や相談窓口等の情報発信	<u>医療機関や相談窓口等における緩和ケアの情報発信</u>